

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

2K4K8K

高シールド

HS
JEITA


DX ANTENNA

CS/BS-IF・CATV・UHF・FM

スマート壁面端子 [10~3224MHz]

1端子形 入力・TV端子間通電 入力端子可動

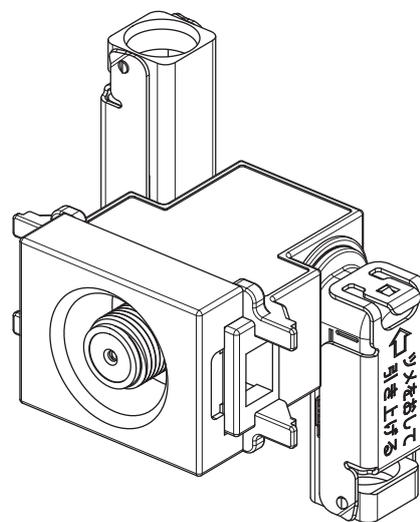
SU7LSS (壁面TV端子)

1端子形 入力・出力端子間通電 入力・出力端子可動

SU7CPSS (直列ユニット)

新4K8K衛星放送に対応

すべての2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。



<SU7CPSS>

付属品

保護キャップ 1個

2K4K8K

2K・4K・8K放送対応マークは、BS・110度CSにて既に放送されている2K放送と4K・8K放送(新4K8K衛星放送)に対応した機器(3224MHz)であることを示します。

高シールド

高シールドマークは、携帯電話や各種無線サービスなどとの電波干渉を抑制するため、厳しい社内基準を基にシールド性を高めた製品であることを示します。

HS
JEITA

HSマーク(ハイシールドマーク)は、一般社団法人電子情報技術産業協会が審査・登録され、衛星テレビジョン放送の中間周波数帯域において、一定以上の遮へい性能を有する機器に付与されるシンボルマークです。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な 注意事項		一般的な 禁止事項		水濡れ 禁止		機器の 分解禁止		接触禁止		指示を守る
---	--------------	---	--------------	---	-----------	---	-------------	---	------	---	-------

警告

この内容を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



工事に関しては工事店などに依頼する

工事には技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店や工事店にご依頼ください。

設置やお手入れ、点検をする際は、次のことに注意する



● 水濡れ注意

本製品は屋内専用です。風呂場や調理場など水や湯煙がかかる場所には設置しないでください。



● 分解して内部に触れない

感電やけがの原因となります。

点検・調整・修理は販売店、工事店または弊社カスタマーセンターにご相談ください。



● 取付ネジは、締め付け力（トルク）に指定がある場合は、指定に従い締め付け、固定する
落ちたり、破損したりして、けがの原因となります。



異常があるときは、すぐに使用をやめる

次のような異常時は、本製品に接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店・工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。

- 煙がでる、においがする
- 内部に水や物が入った
- 画面が映らない
- 外部が劣化

火災、感電、けが、故障の原因となります。



通電ラインには非通電形機器を挿入しない

通電ラインに非通電形機器を挿入すると、CS/BS アンテナやブースターなどに電源が供給されなくなり、テレビが映らなくなります。



雷が鳴り出したら本体やケーブルに触れない

感電の原因となります。



ケーブルに無理な力を加えたり傷つけない

同軸ケーブルを損傷、無理な曲げ、ねじり、加熱（熱器具に近づけたり）、重いものをのせたり、引っばったりしない

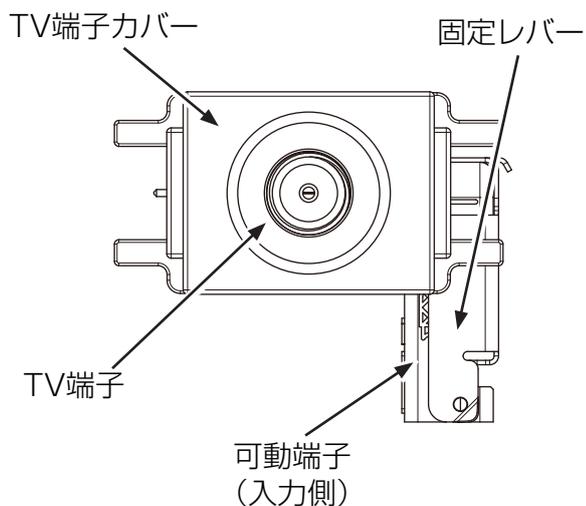
接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあり、損傷すると火災や感電の原因となります。ケーブルが傷んだときはお買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

お取扱いの前に

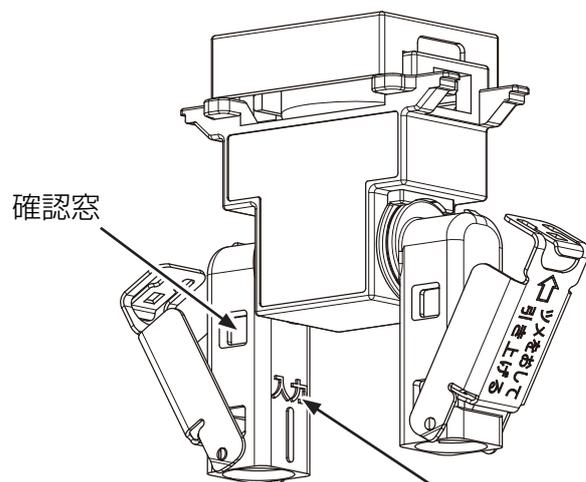
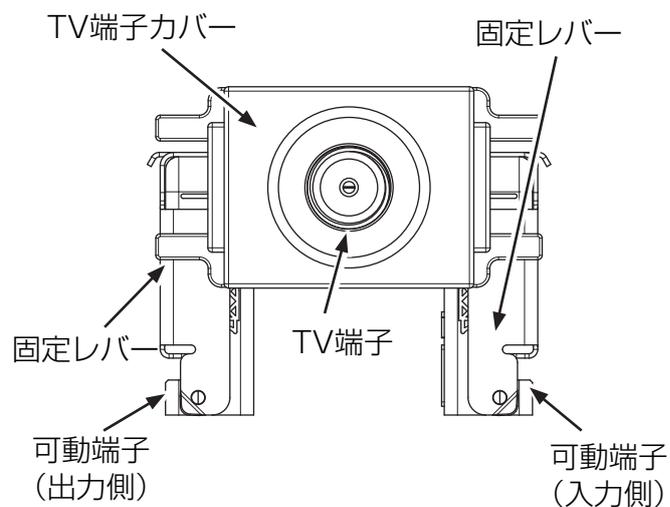
- 本製品の適合ケーブルはS-5C-FB専用です。適合ケーブル以外は接続できません。
- 本製品は屋内専用です。
- 本製品は、ブースターやBS・110度CSアンテナなどに電源を供給するために、電流を通過させることができます。必ず通電容量以内（DC15V・0.8A以下、またはAC30V・1A以下）で使用してください。
- 通電は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後、行なってください。

各部の名称

<SU7LSS>



<SU7CPSS>

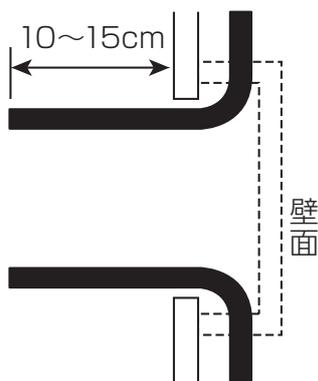


入力側の可動端子は図のように「入力」の表示があります。

同軸ケーブル接続方法

1 ケーブルを引き出す

ケーブル引出し寸法

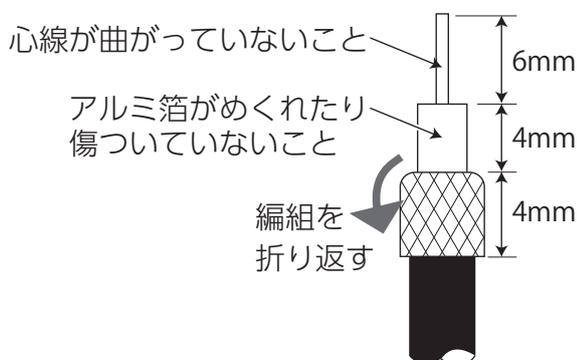


ご注意

ケーブルの引き出し口付近で、ケーブルをケーブルステップルなどで、止めないでください。ケーブルが自由に動かないと、直列ユニットが取り付けられなくなることがあります。

2 ケーブルを加工する

ケーブル先端の加工寸法

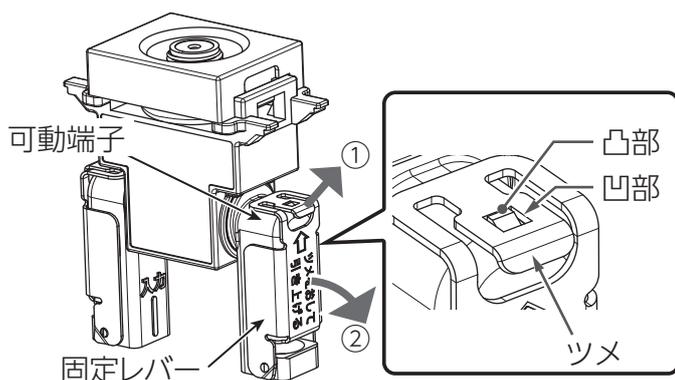


ご注意

- 編組や心線で指を傷つけないように気をつけてください。
- アルミ箔を傷つけたり、はがしたりしないでください。
- 心線に絶縁体の白い膜が付着している場合は、接触不良の原因となりますので、必ずこすり落としてください。

3 固定レバーを引き起こす

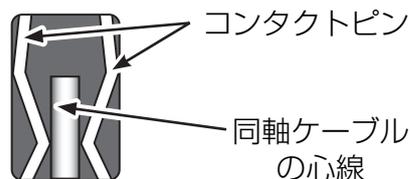
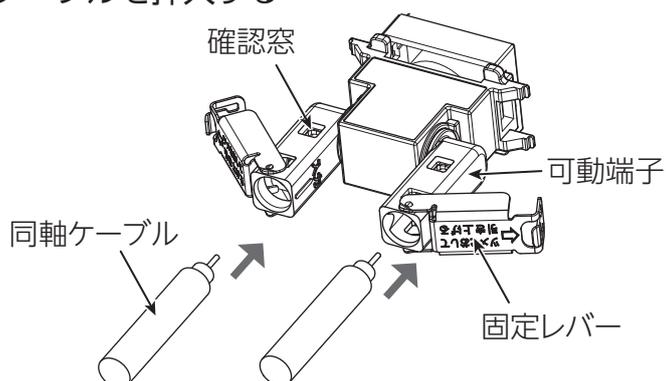
① ツメを矢印方向に引き起こすと固定レバーの凹部が、可動端子の凸部から外れて②固定レバーが開きます。



ご注意

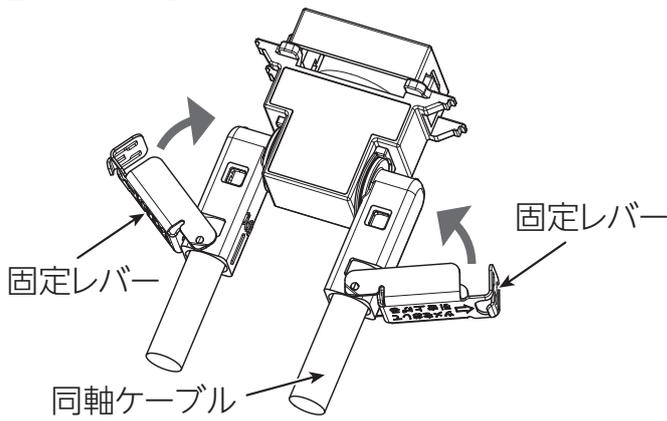
- ①の操作をするときツメを強く押すと、変形する恐れがあります。ツメはゆっくり軽く操作してください。

4 同軸ケーブルを挿入する



- 同軸ケーブルは確認窓から同軸ケーブルの心線が確実にコンタクトピンの中に刺さっていることを確認して奥まで挿し込んでください。

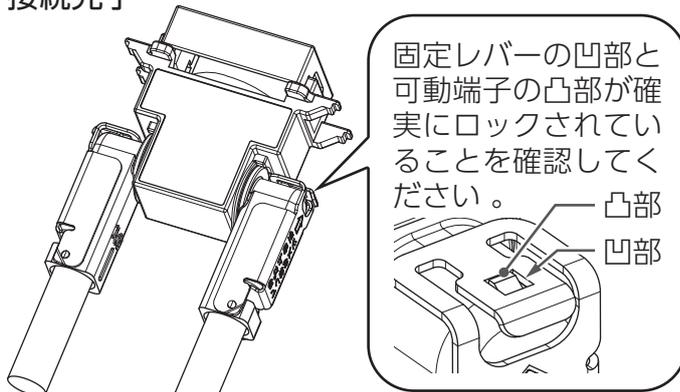
5 固定レバーを閉じる



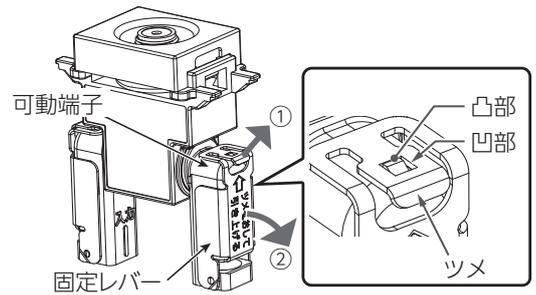
ご注意

- 固定レバーを閉じる際、指を挟まないようご注意ください。

6 接続完了



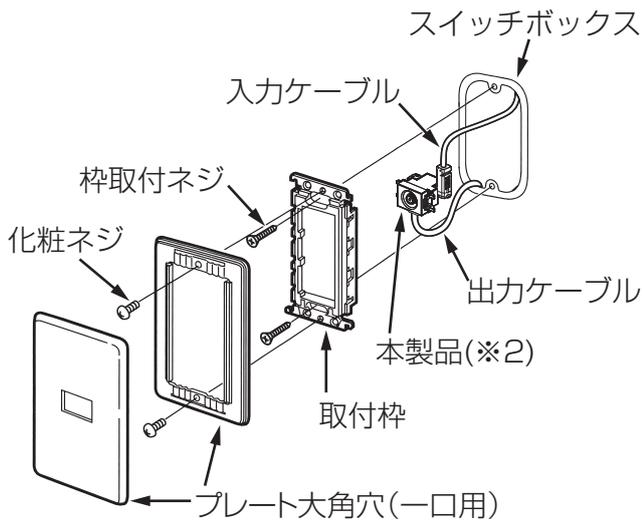
同軸ケーブルを取り外すときは、
 ①ツメを矢印方向に引き起こすと固定レバーの凹部が、可動端子の凸部から外れて②固定レバーが開きます。
 ※同軸を再度接続するときは、一度先端を切断し、再度先端を加工してください。



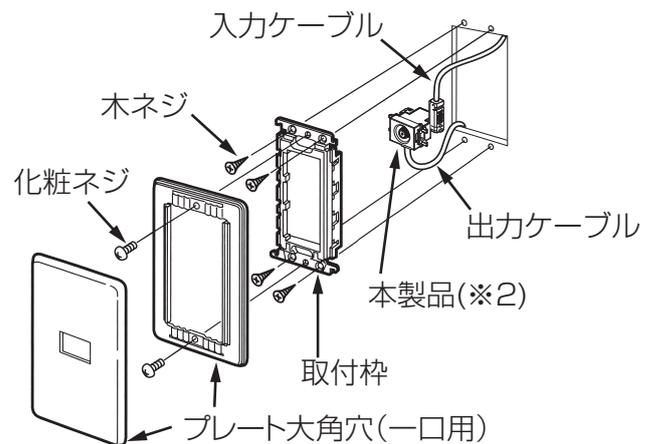
ユニットの取付方法

スイッチボックス（※1）および壁面に取り付けることができます。

〈スイッチボックスの場合〉



〈壁面の場合〉



上記の説明はSU7CPSSです。

※1 JIS C8340規定の1個用～5個用スイッチボックス(カバー付き)に取り付け可能。

※2 本製品以外の取付部品は市販品です。

使用上のご注意

- 通電ラインに使用する場合、システムに適した通電仕様の製品を選択してください。
- 入力・出力端子への接続は、それぞれの端子を間違えないようにご注意ください。
- SU7CPSSの通電は入力・出力間です。TV 端子には通電しないでください。
- CS/BS-IF帯（1032～3224MHz）の信号は、UHF帯に比べて、ユニットや同軸ケーブルを通るときの損失（減衰量）が大きいいため、信号の出力レベルにご確認ください。
- 4K・8Kを伝送する場合、4K・8Kに対応した機器を使用してください。

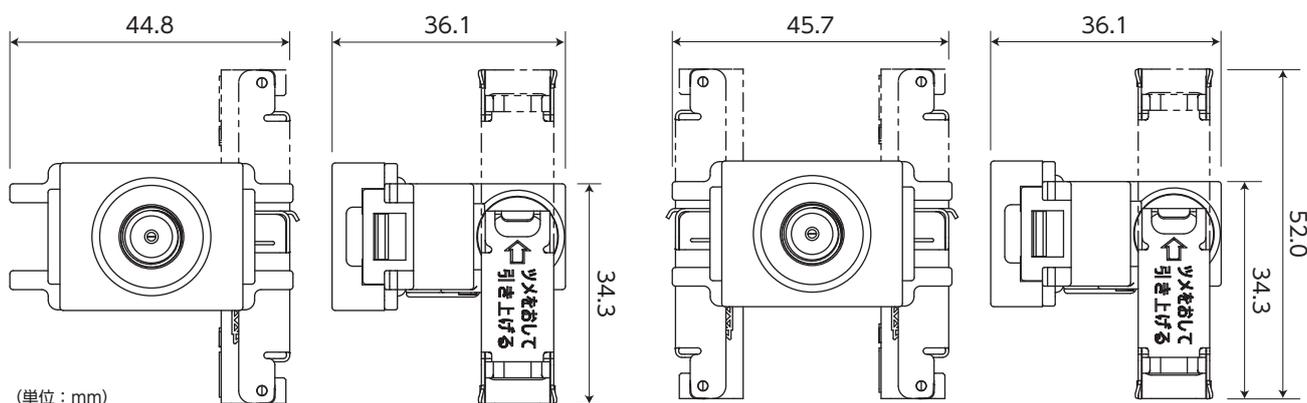
規格特性

型番	インピーダンス(Ω)			使用周波数 (MHz)	挿入損失 (dB以下)	結合損失 (dB以下)	逆結合損失 (dB以上)	VSWR (以下)	質量 (g)
	入力	出力	TV						
SU7LSS	75	—	75 (F形)	10～76	0.2	—	—	1.2	48
				76～222	0.2	—	—	1.2	
				222～770	0.2	—	—	1.3	
				770～1489	0.3	—	—	1.4	
				1489～2150	0.3	—	—	1.5	
				2150～2681	0.4	—	—	1.5	
				2681～3224	0.5	—	—	1.6	
SU7CPSS	75	75	75 (F形)	10～76	1.9	11.5	18	2.0	62
				76～222	1.5	11.5	25	1.8	
				222～770	1.9	11.5	20	1.8	
				770～1489	2.4	12.0	18	2.0	
				1489～2150	4.0	14.0	15	2.0	
				2150～2681	4.0	15.0	15	2.5	
				2681～3224	5.5	16.0	15	2.5	

外形寸法図

<SU7LSS>

<SU7CPSS>



(単位：mm)

スマート壁面端子の
製品情報はこちら➡



SU7LSS
スマート壁面端子
(壁面TV端子)



SU7CPSS
スマート壁面端子
(直列ユニット・中間用)

※本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として処理してください。

カスタマーセンター

土・日・祝日もご利用ください!



0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

(1908)

DXアンテナ株式会社

■ 受付時間 9:30～17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)
■ 一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合：050-3818-9016

ホームページアドレス
<https://www.dxantenna.co.jp/>